

2026年2月9日

報道関係者各位

三井不動産株式会社  
株式会社三井不動産ホテルマネジメント

～ビジネスから観光まで、ゆとりとくつろぎのひとときを～

## 三井ガーデンホテル岡山

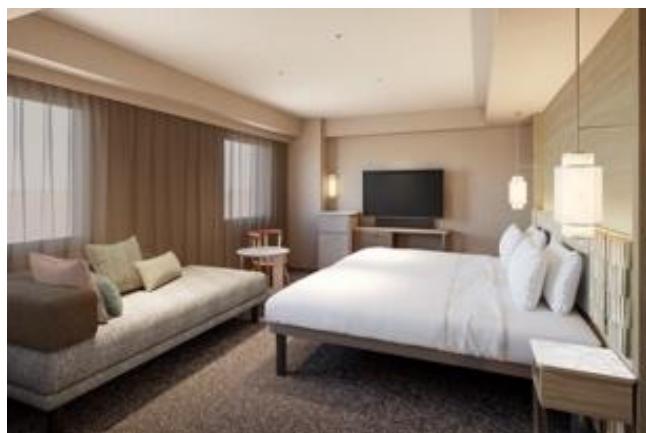
2026年8月9日(日) リニューアルオープン

2026年2月9日(月)より予約受付開始

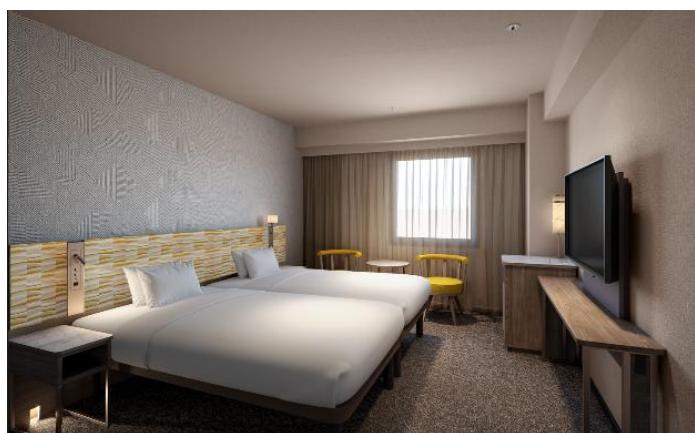
三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:植田 俊)および株式会社三井不動産ホテルマネジメント(本社:東京都中央区、代表取締役社長:杉山 亮)は、「三井ガーデンホテル岡山」(所在:岡山県岡山市)のリニューアル工事を実施しておりますが、2026年8月9日(日)にリニューアルオープンすることを決定しました。宿泊予約の受付は、2026年2月9日(月)より開始いたします。

### リニューアルの特長

- ・デザインコンセプト「Blooming」のもと、“晴れの国”岡山の雄大な自然や名勝から着想を得たデザインやアートを客室など館内随所に取り入れ、明るくリラックスできる空間を演出。
- ・グループやファミリーでもご利用いただける3名定員の客室を、8室から51室へと大幅に増設。さらに、全ての客室で水回りの設備を一新。
- ・大浴場のデザインおよびレイアウトを刷新。よりゆとりある空間へと生まれ変わり、癒しの時間を深く味わえる設えに改修。



スーパーパーツイン(イメージ)



スタンダードツイン(イメージ)

## ■「三井ガーデンホテル岡山」リニューアルの特長

### (1) デザインコンセプト 「Blooming(ブルーミング)」

今回のリニューアルでは、岡山らしい雄大な自然を感じられる、華やかで心地よい空間を目指し、デザインコンセプトを「Blooming」としました。三井ガーデンホテルズのブランドタグライン「Stay in the Garden」に込めた、“ガーデンのように豊かで潤いに満ちた滞在体験をお届けしたい”という想いを体現し、ゲスト一人ひとりに、心躍る彩り豊かなひとときをご提供します。

### (2) 客室

客室は全 4 タイプ・297 室に刷新し、ビジネスから観光までさまざまな滞在シーンに対応できる客室構成といたします。既存の 2 室を 1 室に再構成し、グループやファミリーでのご利用にも適した最大 3 名まで宿泊可能な客室を 8 室から 51 室へ大幅に増設します。また、全客室の内装・家具・備品を刷新することに加えて、水回り設備も全室で一新し、機能性と清潔感を向上いたします。

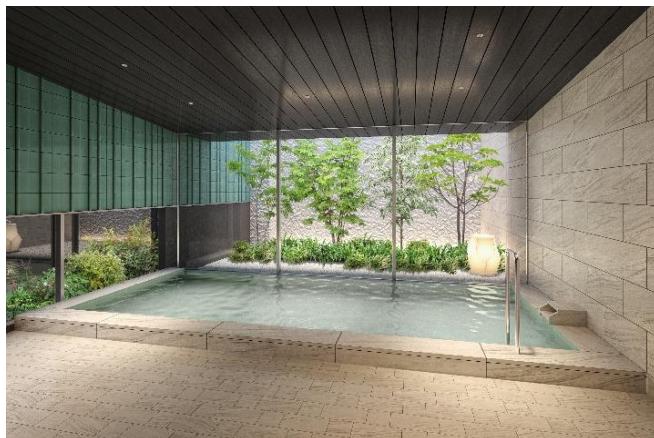
## ■客室タイプ

客室名称	客室数	広さ	定員
スタンダードダブル	118 室	14.2 m <sup>2</sup>	2 人
スタンダードクイーン	56 室	17.1 m <sup>2</sup>	2 人
スタンダードツイン	72 室	20.0 m <sup>2</sup>	2 人
スープリアツイン(1名ソファベッド)	51 室	26.4～28.4 m <sup>2</sup>	3 人
合計	297 室		

### (3) 大浴場・ランドリールーム

大浴場は、デザインとレイアウトを全面的に刷新し、より心地よくお過ごしいただける入浴環境へと生まれ変わります。洗い場を増設し、女性脱衣室には新たなパウダースペースを設置するなど、利便性と快適性を向上させます。浴場の中庭には、岡山の自然に着想を得た植栽を配置し、ゆったりとくつろげる空間を演出しています。

また 2F には新たにランドリールームを設け、アイロンやズボンプレッサーなどのゲストの方に必要な設備類を取りそろえ、利便性を高めます。



大浴場(イメージ)



ランドリールーム(イメージ)

## ■「三井ガーデンホテル岡山」施設概要

所在地	岡山県岡山市北区駅元町 1-7
敷地面積	1,547 m <sup>2</sup> (467.96 坪)
延床面積	10,086 m <sup>2</sup> (4,051.02 坪)
構造規模	SRC 造 地上 10 階
客室数	297 室
リニューアル開業日	2026 年 8 月 9 日(日)
付帯施設	レストラン(1 階)／大浴場(10 階)
電話	086-235-1131
公式サイト URL	<a href="https://www.gardenhotels.co.jp/okayama/">https://www.gardenhotels.co.jp/okayama/</a>

## ■位置図



## 三井不動産グループのホテル事業



三井不動産グループの宿泊主体型ホテル事業では、「三井ガーデンホテルズ」、「ザ セレスティンホテルズ」、「sequence」を全国で展開しています。「三井ガーデンホテルズ」では“ガーデンのような豊かさと潤いのある滞在体験を提供したい”という想いから、ブランドタグラインを「Stay in the Garden」と定め、国内外で 34 施設を展開しています。全国各地の地域性を大切に個性豊かなデザインと「楽しみになる朝食」をご用意し、ビジネスユースだけでなく、レジャー、リトリート、リフレッシュ、長期滞在等、様々なシチュエーションでお楽しみいただけます。また“滞在そのものが目的となるデスティネーション型ホテル”的「ザ セレスティンホテルズ」を 3 施設、自分のスタイルで、“自由な時間と、過ごし方”を愉しむ次世代型ライフスタイルホテル「sequence」を 3 施設展開。多様なニーズに応えるブランドを展開し、さまざまなシーンで「安心」して「快適」にお過ごしいただくことで、「記憶に残るホテルになる。」ことを目指しています。

## ■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

また、2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」「2. 環境との共生」「3. 健やか・活力」「4. 安全・安心」「5. ダイバーシティ&インクルージョン」「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

### 【参考】

「グループ長期経営方針」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

「グループマテリアリティ」

[https://www.mitsufudosan.co.jp/esg\\_csr/approach/materiality/](https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/)

「& EARTH for Nature」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025年4月に、街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の5つを定めています。本リリースの取り組みは、「& EARTH for Nature」における重点課題の1つに貢献しています。



地域の想いをつなぐ